

7/25
2013年第1145号
(毎月5、15、25日発行)

医療「改革」・改憲の狙いに迫る

サマーセミナー 選挙後に社会保障はどう変わるか

8月25日、M&Dホールで開く

協会は、毎年恒例のサマーセミナーを8月25日、M&Dホールで開く。政府が進める社会保障「改革」の実態と自民党の新憲法案の狙いがテーマ。参院選後の歯科医療の行方にも迫る。戸井逸美政策部長が参加を呼びかけている。

戸井政策部長が呼びかけ



政府の社会保障制度改革
国民会議は12日、8月
にまとめる報告書の素案
を提示しました。年金の
支給開始年齢のさらなる
引き上げを例に、社会保
障費を抑制する方針を強
く打ち出しています。

サマーセミナー2013

8月25日(日) M&Dホール

◆午前の部 (10:00~12:00)
「あなたは自民党の新憲法案
案を知っていますか?」(仮)
講師: 上脇博之氏
(神戸学院大学教授)

◆午後の部 (13:00~15:00)
「歯科医療の行方~選挙後、
社会保障はどう変わるか」
講師: 政策部講師団
「歯科技工問題を考える」
講師: 政策部講師団

※会費: 会員無料、定員: 100人
※午前・午後ともに参加の場合
は、昼食(弁当)を用意します

お申し込みは、協会事務局まで
TEL 06-6568-7731

自民改憲案テーマ に上脇氏が講演

浮上する政府の社会保障
「改革」の狙いを追及
し、次期診療報酬改定の
動向や歯科医療の行方、

歯科技工問題を検証しま
す。その上で、会員の先
生方と共に歯科医療危機
打開に向けて求められる
政策や取り組みについて
考えたいと思います。



パネルを見て署名に協力する
男性=13日、難波・千日前通り

5万筆めざし街頭宣伝

「保険で良い歯科」署名訴える

内容になっています。改
憲の思惑や、改憲の発議
要件を規定した96条の改
定を先行する狙いほどこ
にあるのか。4月に
『自民改憲案VS日本国
憲法』を上梓した上脇氏
に解説してもらいます。
社会保障の切り捨てや
9条改憲を進める根本に
は、結果的に人の命を軽
視する政治があります。

「保険で良い歯科」 署名に協力ください

協会では①窓口負担の軽減②保険範囲
の拡大——をめざして「保険で良い歯
科医療」を求める請願署名に取り組ん
でいます。ご協力をお願いします。

協会は、大阪で5万筆
をめざして取り組んでい
る「保険で良い歯科医
療」の実現を求める請願
署名への協力を訴えよう
と、13日の理事会前に難
波・千日前通りで街頭宣
伝に取り組んだ。

副理事長、伊津進弘理事
・相談役らが参加し、「全
国保険医団体連合会が実
施したアンケートでは9
割以上の人が「保険のき
く範囲を広げてほしい」
と答えています」などと
訴え、署名を呼びかけた。
街頭では、生活苦で受
診できず、「口腔崩壊」
に至った6歳児の事例を
パネルで掲示。通行人に
窓口負担軽減の必要性を
訴えた。パネルを見つめ
ていた男性は、「歯医者
に通っていますが、治療
費が高いですよね」と話
し、署名に応じた。



基軸 日本の行方と 新福祉国家

都留文科大学名誉教授・後藤道夫

「構造改革」以前も今
も、日本は福祉国家とは
言いがたい。20世紀末ま
で、日本で福祉国家の代
わりをしていたのが、大
企業中心の経済成長に国
家施策の大半を費やす開
発主義国家体制である。

日本型雇用、および、補
助金と規
制による
所得再分
配(地
方、農林
業など)

新自由主義への対抗構想

社会的危機救う新福祉国家

日本の開発主義の抵抗は
弱く、すでにそのほとん
どは解体された。その結
果はよく知られている通
りだ。20世紀末から賃金
が下がり続けて貧困が拡
大し、消費需要が落ち込

み、国内経済の長期停滞
が生じた。
強力な労働規制による健
全な労働市場と最低生活
保障の諸制度の本格的構
築を行い、同時に、国内
発展に不可欠である。新
福祉国家運動の担い手
は、保守派を含め、多国
籍企業中心の政治と闘
う、すべての階級、階
層、産業、地域の人びと
である。消費税、原発、
TPPに反対する市民運
動と地域・業界の運動の
広がりには示唆的である。
なお、日本では、強力な
産業別労働組合運動の構
築が、これからの大きな
課題となろう。

多国籍企業群に蓄積され
た富を、賃金と税・社会
保険料を中心に国内に環
流させる必要がある。国
内消費が拡大して経済成
長も可能となろう。
それは、福祉国家諸国
の到達点を念頭に置き、
強力な国際連携によっ

「保険で良い歯科」署
名は11月まで取り組んで
います。引き続きご協力
をお願いします。

医療機関でも、次々と
新機種新設備が、公共事
業みたいな極端な需要予
測のもとに導入され、過
重金利負担になっている。

大阪は巨大
だが地方都市
だから東京ほ
どは益休みの

紙面へのご意見や感想、投稿記
事などを新聞部までお寄せくだ
さい。紙面に掲載させていただいた
場合は、図書カード3千円分を進
呈いたします。
(郵送やファクスで、協会新聞部
までお寄せください)